

自治体キャラバン

北広島町と安芸太田町と懇談  
インボイスや国保、物価高騰など



北広島町と安芸太田町で、町への要請と議会への陳情をおこないました。



の要望と各町の回答は以下の通りです。

11月11日（金）、広島北民商も加わっている「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動広島県実行委員会の『自治体キャラバン』で、北広島町と安芸太田町に伺いました。この行動は、毎年県内全ての自治体に対しておこなっているもので、労働組合、民医連・医療生協などの病院関係と共に、民商・県連も参加しています。今年は北民商から陶山事務局長が参加しました。

①「インボイス制度の中止・延期を国に要望すること」  
民商・県連がおこなった2800名分の営業動向調査の結果を示し、農業者やシルバー人材センターなど、多くの悪影響が出ることを訴えました。

②「国民健康保険の傷病手当に事業主特例を創設すること」  
コロナでの傷病手当を事業主まで対象にしている自治体は全国で15自治体のみです。懇談では町独自の制度創設を求めましたが、北広島町の大畑町民課長は「県単位化で足並みをそろえていくので、町独自の考えはない」と残念な回答でした。一方の安芸太田町の上住民課長は、県単位化で難しいとしつつも「要望は理解できます。町で話をしていきたい」との回答でした。

③「物価高騰の支援を」  
北広島町の川手総務課長は「中小業者向けに、ガソリン補助などを実施している」と回答。安芸太田町の二見企画課長は「5月に町独自で事業承継等への中小業者支援（上限100万円）を実施してきた」、「12月からは全町民に1人7000円の地域通貨（町内で利用できる商品券）を配布する」と進んだ対応の回答がありました。

【陶山記】

県連「幹部学校」を開催

10民商60名が生きた経験を共有

11月12日（土）と13日（日）の両日、広島県連主催の「県連幹部学校」が開かれ、県内民商の60名、広島北民商から8名が参加し、初参加が15名でした。

二日間にわたる学習は、全商連の総会方針と基本方向、県連の総会方針などを県連役員が講師となって学習した他、「私と民商の出会い」でのパネルディスカッション。3つに分かれてのグループ討議などでした。

両日参加は久村会長、横畑副会長、牛田事務局長。その他、初日は高陽支部の小野田支部長（新任）が初参加。二日目は大久保、伊村、伊勢の各副会長も参加しました。



グループ討議で活動を深め合い

以下、幹部学校に参加された伊勢さんと大久保さんの感想を紹介します。

対話の中にヒント。相談も基本に忠実に

運動や活動の話を通じて思ったことは、色々な制度や手段を早く知らせる事も大事だけど、自治体交渉を継続しておこなうことの大事さを感じました。また、会員との対話の中にこそヒントがあり、業者が信頼するのはどんな相談も本気で対応してくれる民商の相談の場であり、基本に忠実にすることができているのかなと思えました。

【副会長 高陽支部 伊勢真雄記】

民商は安心して相談できる場に

改めて支部、班を中心にした運動が大事だと感じました。今回、多くの役員の参加を見ることができ、うれしく思いました。

私が民商活動に入ったのは37歳でした。その頃と比べ、今の社会情勢では、若い者に安心して渡せる情勢ではない。インボイスにしても、まだまだ中止の運動に頑張らないといけないですね。

「民商の仲間がいて、分からないことも聞くことができる事で安心する」という話もあり、気持ちがよく分かりました。新入会員の歓迎会と役員作りに力を入れ、若い業者の民商運動への参加を広げたいと思います。

【副会長 可部亀山支部 大久保義明記】

「とっていき」

- 21日（月）  
・ インボイス学習会
- 21日（月）  
・ 12月5日（月）  
・ 小規模・更新等受付
- 22日（火）  
・ 法人学習会 昼&夜
- 24日（木）  
・ 陽気な道場  
・ 無料法律相談 要予約 2時
- 27日（日）  
・ 県青協ゴルフ交流会
- 28日（月）  
・ 北広島町懇談
- ・ 三役会

融資、多重債務・サラ金、滞納のご相談は

『陽気な道場』へ

毎週木曜日 夜7時から

法人の会員さんも一緒に税金学習を

『法人学習会』

毎月第4火曜日 昼1時30分と夜7時

『税務調査の対策会議』は随時開催します!!